

第6回気候変動勉強会を開催 テーマ：ESG投資の現実と課題

一般社団法人日本損害保険協会（会長：白川 儀一）は、2050年ネットゼロの実現に向けた脱炭素への移行を進めるため、5月23日（火）に会員各社向けの勉強会をオンライン開催し、会員各社から421名が参加しました。

損保協会では2021年7月以来定期的に勉強会を開催していますが、第6回目にあたる今回は、金融庁サステナブルファイナンス有識者会議の座長を務める高崎経済大学の水口剛先生を講師としてお招きし、「ESG投資の現実と課題」と題して主に次の内容についてご講演いただきました。

- ・ ESG投資が求められる背景
- ・ ESG投資・インパクト投資の取り組み状況と課題について
- ・ ESGに対する世界的な機運の高まりと反ESGの動き
- ・ 非財務情報開示の国内外での進展

開催に際し、渡邊企画部会長から「ESG投資は、環境・社会・ガバナンスの観点から長期的な持続可能性を評価し、投資を行う方法として注目されており、国内外で増加傾向が続いている。本勉強会を通じて、ESG投資に関する現実と課題について理解を深めていただき、情勢を踏まえた対応が行えるよう学んでいく重要な機会になれば幸い。」と挨拶がありました。

参加者からは「ESG投資周辺の基礎知識や背景についても丁寧に解説していただいたので大変勉強になった。」などの感想も寄せられました。

今後も損保協会では国および国際社会の取組みと協調を図りつつ、業界一丸となって気候変動・サステナビリティの取組みを推進してまいります。



右：水口剛先生（高崎経済大学） 左上：渡邊企画部会長 左下：石尾課長 損害保険ジャパン株式会社（司会）
（参考）過去の開催履歴

<https://www.sonpo.or.jp/about/efforts/ClimateChange/info/>